

平成23年 行政事業レビューシート (内閣府)

事業名	経済財政政策関係業務システムの最適化実施		担当部署	経済社会総合研究所		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成18年度・平成22年度		担当課室	総務部、景気統計部、国民経済計算部		総務部長 市川正樹 景気統計部長 増島 稔 国民経済計算部 豊田欣吾	
会計区分	一般会計		施策名	16-④ 経済財政政策関係業務システムの最適化(成果重視事業)			
根拠法令(具体的な条項も記載)	内閣府設置法第4条第3項第5号及び第6号		関係する計画、通知等	経済財政政策関係業務等に必要なシステムに係わる業務・システム最適化計画(内閣府本府情報化推進委員会決定)			
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	本業務は、経済財政政策関係業務等に必要なシステムに係わる業務・システム最適化計画(内閣府本府情報化推進委員会決定。以下「最適化計画」という。)に基づき、統計作成業務及び研究業務並びにそれらの業務を処理するためのシステムを最適化することを目的としている。						
事業概要(5行程度以内。別添可)	本業務は、統計作成業務及び研究業務並びにそれらの業務を処理するためのシステムを、大型電子計算機を中心とするシステムからオープンシステムへの移行を行い、業務の特性を考慮しつつ、業務・システムの見直しを図ることにより、(1)業務の効率性・合理性の向上、(2)国民の利便性の向上、(3)安定性・信頼性・安全性の確保、(4)経費の削減を実現するために行っている。 (「最適化計画」第1 業務・システムの概要より抜粋)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額(単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求
		補正予算	0	0	△ 118	-	-
		繰越し等	0	0	0	-	-
		計	292	353	23	-	-
	執行額	251	76	23	-	-	
	執行率(%)	86%	22%	100%	-	-	
成果目標及び成果実績(アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値(年度)
	「最適化計画」に示されている工程表を踏まえ、平成22年度は業務システムの開発・検証の完了と設定した。手法としては、WBS(work breakdown structure)及びEVM(Earned Value Management)を用いた。 ※成果実績値は、定量可能なEVMの値を採用。	成果実績	人日()内は累積値	165(165)	2232(2397)	508(2905)	-
		達成度	%	100	100	100	-
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	本件は、システムの開発・設計・検証を目的とした請負契約事業であり、定量的な活動指標及び活動実績の記載は困難である。		活動実績(当初見込み)	-	-	-	-
単位当たりコスト	-		算出根拠	本来のEVMは、予算効率の計算が可能だが、本事業においては、EVを工程進捗の効率性を計測する仕様となっており、単位コスト計算は不可能である。 【補足】 EVM(Earned Value Management)とは、プロジェクトマネジメントにおいて進捗状況の把握・管理を行う手法の一つ。作業の到達度を金銭などの価値に換算したEV(Earned Value: 出来高)という概念で把握する。			
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	計						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・用途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>「景気統計システム」について、平成23年3月31日を以って開発及び検証の工程をすべて終え、完了した。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	<p>今後の関係施策の推進に資するよう、事業の成果について適切に検証すべき。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
<p>事業の成果を踏まえ、より一層、CIO補佐官や関係部署間で緊密に連携を図りながら施策を進める。</p>			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
<p>平成22年度限りの事業</p>			

経済社会総合研究所 景気統計部

〔新システムの検証管理等〕

【一般競争入札、総合評価入札、請負契約】
(新システムの検証)

A. 富士通(株)
19百万円

〔オープンシステム用ソフトウェアに移行するためのシステム検証作業等〕

【一般競争入札、総合評価入札、請負契約】
(新システムの検証管理)

B. (株)三菱総合研究所
4百万円

〔内閣府及び事業者が行う進捗・品質管理等の第三者の視点からの確認、必要に応じた事業者への是正措置要求等〕

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者について
 記載する。費目と使途の双方
 で実情が分かるように記載)

A.富士通(株)			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
開発費	システムの検証	18			
税	消費税	1			
計		19	計		0
B.(株)三菱総合研究所			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	進捗・品質管理等	4			
税	消費税	0.2			
計		4	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	富士通(株)	オープンシステム用ソフトウェアに移行するためのシステム検証作業等	19	—	—

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)三菱総合研究所	内閣府及び事業者が行う進捗・品質管理等の第三者の視点からの確認、必要に応じた事業者への是正措置要求等	4	—	—

※富士通(株)及び(株)三菱総合研究所における契約は、国庫債務負担行為による複数年契約であるため、平成22年度分については、「入札者数」及び「落札率」を空欄としている。